

# 早稲田大学における教育支援の取り組み

## — Faculty Café を中心に —

蔦妍・森田裕介（早稲田大学大学総合研究センター）

### 発表概要

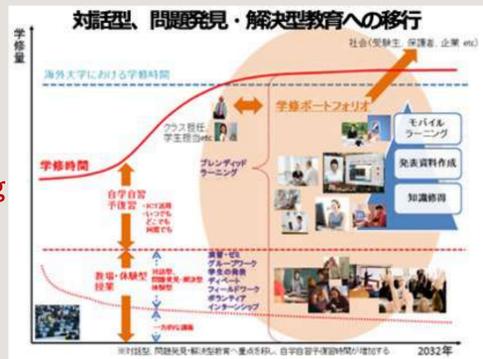
早稲田大学は創立150周年に向けた中長期計画の中で、対話型、問題発見・解決型教育の移行を目指している。この移行を支援する取組の一つとして、Faculty Caféがあげられる。Faculty Caféは「教えること」について話し合う場として、早稲田大学大学総合研究センター（以下、大総研）を中心に企画運営されている。本発表は2018年度実施したものを基軸に、参加者のアンケート結果に基づき、そこから見えてきた教育支援の現状と課題について報告する。

### 背景

#### 大学方針

- ・ 創立150周年 (Waseda Vision 150)
- ・ 対話型、問題発見・解決型教育への移行を目指す

早稲田大学の  
Active Learning



- ・ 月1回(5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月)
- ・ 自主参加



### ▲大学総合研究センター▲

### Faculty Caféの広報及び内容（対象分だけ）

#### 【広報】

- ・ 開催する月の1ヶ月前に
- ・ 学内メール
- ・ お知らせ
- ・ 大総研HP
- ・ Facebook など

#### 【当日の開催】

- ・ 教職協働
- ・ 講演やワークショップ
- ・ アンケート

**Faculty Café**  
「教える」ことについて語り合う場  
Coffee time

近年「反転授業」は新たな教育改革のキーワードの一つとなり、草の根的に国内大学で広まっています。革新的な教育デザインのように見えますが、実際はどのような学習者の理解が深まったという研究事例が報告されています。本学ではどうでしょうか。

2019年度第1回のFaculty Caféでは、「反転授業」のテーマをもち、理論と実践をベースにした大学教育を一緒に考える場には無いでしょうか。また、「Cafe」の通り、コーヒーやお菓子を準備しております。理工分野に限らず、反転授業や新しい授業手法にご関心のある先生方のご参加をお待ちしております。

**反転授業**

日時 2019年5月28日(火) 16:30-18:00  
会場 理工キャンパス、51号館3階 第5会議室  
対象者 本学教職員  
報告の依頼 説明：「反転授業とは」 蔦妍（大学総合研究センター講師）  
事例紹介：「反転授業の実践例」 大坪康郎（理工学術院講師）  
※2018年度Waseda e-Teaching Award受賞者  
・意見交換  
申込方法 申請フォーム <https://bit.ly/2Wz9t8e> よりお申し込みください。

**Faculty Café**  
「教える」ことについて語り合う場  
Coffee time

アクティブラーニングを経験して入学する高校生を大学は受け止められるか？  
—2030年（以降の）社会を見据えて—

講演者 蔦妍 先生  
学校法人明徳学園 理事長  
トランスフォーメーションセンター 所長・稲巻橋渡大学特任教授  
●京都大学博士（教育学）、同大講師、准教授、教授を経て、2018年9月より現職  
●アクティブラーニング研究と実践の第一人者  
●著書に『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』、『アクティブラーニング型授業としての反転授業』ほか多数

日時 2019年6月28日(金) 17:30-19:00  
会場 早稲田キャンパス、7号館3階312室  
対象者 本学教職員  
申込方法 参加をご希望の方は6月25日(火) 17:15までに、申込みフォーム <https://bit.ly/2J0a0d1> よりお申し込みください。

**Faculty Café**  
Light Japanese snacks and coffee provided  
Coffee time

**Increasing Student Engagement with Assigned Reading: Annotation, Crowdsourcing, and Redaction**

Gavin Porter (Ph.D.)  
Lecturer and Curriculum Fellow at Harvard Medical School

July 31 (Wed), 2019  
16:00-17:30  
Reception will follow  
Building 7 Room 305  
Teaching staff at Waseda  
English  
Please apply by July 30 <https://bit.ly/2RkL1k1>

Event sponsored by Center for Higher Education Studies, Waseda University  
(お問い合わせ先: chees-staff@waseda.jp)

**Faculty Café**

アクティブラーニング型授業は大規模授業でできないの？  
グループワークを取り入れたら、アクティブラーニングの授業になる？  
理系の授業では、教えることについて話し合う場は必要ではないか？

皆様はこのお考えをお持ちではありませんか。  
今回のFaculty Caféで、上記の疑問を一緒に取りましょ。  
当日のCoffee timeで交流の時間を設けています。また、大総研におけるアクティブラーニングの導入事例を報告します。最後に、参加されている皆様の実践例を共有いただき、知見を深めたいと思います。  
「アクティブラーニング」のテーマをもち、理論と実践をベースにした大学教育を一緒に考える場には無いでしょうか。また、「Cafe」の通り、コーヒーやお菓子を準備しております。

大学の授業方法に携わる先生方のご参加をお待ちしております。

日時 2019年10月29日(火) 16:30-18:00  
会場 早稲田キャンパス、7号館3階309教室  
対象 早稲田大学教職員  
申込 <https://bit.ly/2n1040u>

【プログラム】  
テーマ：「アクティブラーニング」  
講演者 蔦妍（大学総合研究センター講師）  
16:30-17:30 Coffee time  
17:30-18:00 意見交換

### アンケート

#### 【参加者への質問】

- ① 参加したきっかけ(動機)?
- ② 内容は今後役に立つか?
- ③ 内容は分かりやすかったか?
- ④ 内容に満足したか?
- ⑤ 参加者資格

#### 【自由記述】

- ・ 上記の② ③ ④の答えをする理由
- ・ よかったと思う点
- ・ 改善できると思う点
- ・ 今後取り上げてほしいテーマ

#### 【結果】

表 参加者の内訳

	5月	6月	7月	10月	合計
教授	6	9	3	1	19
准教授	2	7	5	5	19
講師	6	2	3	3	14
助教	0	2	4	2	8
非常勤講師	6	11	5	6	28
その他	2	3	3	7	15
合計	22	34	23	24	103

表 参加動機

	FDに興味・関心がある	教え方に興味・関心がある	テーマに興味・関心がある	講演者に興味・関心がある	自分の授業がよりよくなった
5月(N=22)	7	15	13	NON	18
6月(N=34)	14	14	17	18	1
7月(N=23)	13	16	13	4	15
10月(N=20)	2	11	11	3	12

表 Faculty Caféに関する評価

	内容は今後役に立つ	内容はわかりやすかった	内容に満足した
5月(N=21)	20	21	20
6月(N=30)	25	29	24
7月(N=23)	21	22	21
10月(N=20)	18	15	17

### Faculty Caféに参加した教員の声(一部抜粋)

- ・ まず、他学部の状況がわかってよかった。自分の分野の反転は、学会などで見るが他分野も知れてよかった。
- ・ 貴重なお話をうかがうことができ、参照できるリソースも得られ、大いにためになった。
- ・ 予想以上に参加人数が多くて驚きました。
- ・ アクティブラーニングのイメージが少し変わった。
- ・ 具体的な手法の紹介と実践がよかったです。実践しつつ手法を学べるのがよかったです。
- ・ AIについて全て研修を受ける機会がなかったので導入として参考になった。他の分野の先生と話す中で、異なる視点を得ることができた。

### 今後の検討課題

- ・ 教え方に焦点を当てる企画を心掛けるようにする
- ・ 多様なニーズへの対応(例:レベル別;キャンパスごと;休み中の開催など)
- ・ 参加者が学んだことを自身の授業に生かしているかどうかを精査すること
- ・ 持続的に運営していく体制の構築



早稲田大学大学総合研究センター  
Waseda University Center for Higher Education Studies